

施策評価シート（平成25年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	3-1	政策名	子育て環境の充実	政策の 目指す姿	子育てに喜びを感じ、安心して健やかな成長を育んでいます	施策 主管課	こども課	施策主管 課長名	小田中 清子
	施策No.	2	施策名	家庭の教育力向上	施策の 目指す姿	子どもが基本的な生活習慣を身につけています	関係課名	生涯学習交流課		
	現状と課題	<p>・保護者の就労形態の多様化、核家族化などにより、親子の触れ合いの時間や経験豊かな祖父母などから学ぶ機会が減少しています。</p> <p>・子育てにおける保護者の価値観が多様化し、過保護、過干渉、放任などの問題が生じ、生活リズムや食生活の乱れなど基本的な生活習慣が身につけていない子どもが見られます。</p>								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

<p>(1) 家庭教育力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前教育振興会議を開催した(年3回)。 主な議題: こどもの体力低下、基本的な生活習慣の確立、ニコニコせんせい体験の実施等に関する協議 ・ニコニコガイド(子育て情報パンフレット)などの発行による子育て情報の提供を行った。(ニコニコガイド年1回、広報年2回) ・子育て講演会を開催した。(演題: 子育てから生まれる絆) ・家族で「ニコニコチャレンジ」に取り組んだ。(5歳児を対象に年2回実施) <p>※ニコニコチャレンジ: 幼児期に身につけたい基本的な生活習慣の項目を家族で決めて一定期間取り組み、定着を図るもの。</p>

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
基本的な生活習慣が身につけている子どもの割合	子どもが心身ともに健康に育つための生活の基盤となる基本的な生活習慣の確立を示す指標	出典: 花巻市(基本的な生活習慣保護者アンケート) 問: 早寝、早起き、朝ご飯・挨拶ができる・ゲーム、テレビ視聴のルールを守るなどが身につけていますか。	%	目標値				80.0	80.0	80.0
				実績値		79.8	78.3			
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
	<p>こどもを取り巻く環境は厳しくなっているものの、乳幼児の成長過程に大切な基本的な生活習慣の重要性について、ニコニコガイドなどにより、保護者向けに情報発信してきたことや、親子で取り組むニコニコチャレンジの推進など連動した活動により、保護者の家庭教育力向上の意識づけが図られており、横ばいで経過している。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	貢献度の判断理由
	事業内容(実績)			
1-1	家庭教育力向上事業	こども課	B	乳幼児の保育・教育についての課題を共有化し、改善方法をさぐることに貢献している。
	就学前教育振興会議の開催 3回			
1-2	家庭教育力向上事業	こども課	B	子育て情報提供により健全な子どもの育成に貢献している。
	子育て情報の提供 ニコニコガイドの発行 1回 子育て講演会の開催 1回 子育て支援研修会 各園1~2回			
1-3	家庭教育力向上事業	こども課	B	健全な子どもの育成には家庭が基盤となり、努力が必要であるという意識が高まることに貢献している。
	家族で基本的な生活習慣の確立に取り組む ニコニコチャレンジに取り組んだ家庭94%			
2	青少年活動推進事業	生涯学習交流課	C	子育て情報提供により健全な子どもの育成に貢献している。
	家庭教育に関する学習機会の提供 家庭教育講座実施回数33回			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)
なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

(新たに取り組むべき事業はないか)

保護者にとって子育て情報を得る手段、機会が多く、子どもの健全な育ちに基本的な生活習慣の確立が重要であることは分かっているものの、どのようにして子どもに掛けていくかわからないという保護者の声が増えている。どのように行動すればよいかを実際に伝える体験の場を設定していく必要がある。

6 施策の総合的な評価

(課題)
基本的な生活習慣の重要性は分かっている、それを子どもにどのように掛けていけばいいのか分からない困り感を持っている保護者が多い。また、もともと子育てに関心の薄い保護者へのアプローチについて考えていく必要がある。

(今後の方向性)

- ・ニコニコチャレンジの取り組み対象の年齢を拡大していく。
- ・園と保護者の相互理解と信頼関係を深め、子育てポイントについて具体的な対応の仕方を知らせるなど、家庭教育力を向上させるため、H26年度より保護者が実際に保育士体験をする「ニコニコせんせい体験」を実施する。